

令和4年度 事業報告書

江別市社会福祉協議会(以下「当協議会」)では、令和2年度に策定した地域福祉実践計画(以下「計画」)に基づき、「暮らしの安心を支える地域福祉」を目指して運営し事業を進めています。

計画の3年目を迎えた令和4年度は、生活困窮者自立支援事業、成年後見支援センター(中核機関)の運営や法人後見事業、コロナ禍における特例貸付を含む生活福祉資金貸付事業等、多岐にわたる多くの相談に対して迅速な対応に努めたほか、生活支援体制整備事業においては、生活支援コーディネーターが関係機関と連携して、地域課題を抽出し、課題対応に向けての取り組みを実施しました。

雪処理への支援においては、令和3年度の豪雪を受け、社協が行う除雪関連サービスの申込が急増しました。特に、除雪派遣サービスにおいては利用申込の増加に伴い、除雪作業の担い手をどう確保するかが大きな課題となりました。作業員確保のため、広報誌で募集をかけたほか、協力団体等に追加依頼するなどして4年度は希望する全ての世帯にサービスを提供することができましたが、今後も雪処理の担い手確保は喫緊の課題となっています。

地域活動支援においては、愛のふれあい交流事業の「地域交流の集い活動」を、対象者宅に訪問する活動等に変更した際にも助成金を申請可能とした特例措置を継続し、コロナ禍でも柔軟な対応がとれるよう支援しました。

以下、具体的な事業の実施結果について報告します。

目 次

基本計画1	地域福祉に関する情報提供や包括的な相談体制による支援	1
基本計画2	ボランティア活動で進める福祉の環境づくり	6
基本計画3	市民参加で進める地域での生活支援や交流活動の促進	8
基本計画4	体験学習、研修による福祉意識の醸成	11
基本計画5	自立した生活を支援する福祉サービスの提供	12
基本計画6	地域に信頼される社協運営のための組織づくり	15
★	会務の運営、基本計画以外の主な活動	21

基本計画 1 地域福祉に関する情報提供や包括的な相談体制による支援

市民が福祉サービスを利用しやすくするための情報提供と生活全般にわたる困りごとや悩みごとに対応できる相談支援体制の整備に努めました。

(1) 広報活動による福祉情報の提供

① 社協だより「幸せな社会」の発行

身近な地域の福祉情報を掲載した広報誌「幸せな社会」を年4回発行(発行1回につき約42,000部)し、自治会の協力を得て市内全自治会員に配布するとともに、ホームページ掲載、公共施設への配置及び関係団体などへ送付し、福祉情報を発信しました。

また、表紙など一部カラー印刷や写真を活用し、市民にわかりやすい誌面づくりに努めるとともに、拡大版を作成し公共施設などへの配置やボランティアセンター登録団体の点字ろくの会の協力を得て、誌面を点字化し、視覚に障がいのある方へ情報提供しました。

② ホームページの運営

当協議会の運営・事業内容やタイムリーな福祉・ボランティア情報の掲載と更新、総合社会福祉センターの貸室予約機能の追加等、ホームページの利便性向上に努めました。

③ 社協事業活動の説明

▷ 当協議会事業の説明を行いました。

- ・令和4年12月7日(水) 北翔大学 就業力特別講習
- ・令和5年2月1日(水) 長井学園実習生

▷ 地区民生委員児童委員協議会や市民団体へ歳末見舞金品贈呈事業の説明を行いました。

- ・令和4年9月9日(金) 野幌北地区民生委員児童委員協議会
- ・令和4年9月14日(水) 野幌南地区民生委員児童委員協議会
- ・令和4年10月10日(月) 江別市生活と健康を守る会
- ・令和4年10月13日(木) 江別南地区民生委員児童委員協議会

▷ 「2022年度版社協要覧」を作成し、福祉団体・施設などへ配布し、PRに努めました。

(2) 福祉サービスの適正化、苦情対応

当協議会が提供する福祉サービスに寄せられる苦情・意見などについて、電話での対応のほか現地へ出向くなど適切な対応に努めました。また、苦情対応事業第三者委員会を開催しました。

- ・開催日:令和5年3月30日(木) 委員3人出席
- ・会議内容:

雪の処理情報誌掲載事業者への対応について(苦情事例の検討及び今後の対応)

(3) 生活課題に対応した総合的な相談支援

① 生活困窮者自立支援事業の実施(市受託事業)

くらしサポートセンターえべつ(以下「くらしサポ」)では、対象者像に合わせた就労支援と役割を創出する活動の充実に注力するとともに、関係機関への事業説明やブログでの情報発信など、事業周知活動にも努めました。

【相談支援実績】 新規相談件数 407件 支援延べ回数 4,265回
プラン作成件数 79件

【支援調整会議】市所管課(管理課)担当職員、就労準備支援事業所しごとサポートセンターコクリ(以下「コクリ」)職員、くらサポ相談支援員により、自立に向けたプランの確認や、事業の進め方、相談内容の対応などについて協議しました。／開催回数 41回

【江別市生活困窮者自立支援ネットワーク会議】生活困窮状態にある相談者が抱える多様で複合的な問題について、関係機関等が連携し情報共有を行うとともに、支援に必要な分野横断的なネットワークを構築するために初年度から継続開催しています。

今年度の会議は、くらしサポートセンターえべつからの事業報告と、当協議会地域福祉係からの江別市におけるコロナ特例貸付の現状や課題について情報提供するとともに、それぞれの所属機関でのコロナ禍における現状や課題について情報共有を図りました。／開催回数:1回(26機関31人参加)

【就労支援】コクリやハローワークなど就労支援機関との連携はもとより、ハローワークでの求職が困難な方々(背景に病気・障がい・社会経験の乏しさなど)への支援の充実に向けて取り組みました。

▷ 就労体験先等の開拓に向けて 企業など訪問数 3カ所

▷ 無料職業紹介事業:求人登録数 1件 求職登録者数 0人 就労決定者数 0人

▷ 江別市版中間的就労事業の実施:雇用契約を伴わない就労の形として、市内企業2社と協定を結びプログラム化。／延べ参加人数 62人 作業料 77,400円

* 中間的就労:一般企業などですぐに働くことが難しい方を対象に、訓練として支援付きの就労の場(軽作業など)を提供する事業。事業者との雇用契約は無いものの、参加者に一定の作業料を支払う。

【事業周知・説明】ブログや社協だより「幸せな社会」、市広報誌での情報発信などの周知活動を実施しました。また、福祉団体などに対し事業説明を行いました。／説明箇所数 5カ所

【居場所「シエスタ」の開催】NPO法人レターポストフレンド相談ネットワークと協働し、ひきこもり当事者とその家族が気兼ねなく参加できる居場所づくりを模索しました。また、市内各領域の支援機関へ参画を要請することにより、多機関協働で開催することができました。／開催回数 5回 延べ参加人数 126人

【ゲーム交流会の開催】居場所シエスタ全日程終了後、引き続き参加者が気軽に利用できる居場所・交流の場として開催しました。／開催回数 5回 延べ参加人数 20人

【家計支援実績】家計に関する助言や、滞納解消及び債務整理に関する支援、貸し付けの斡旋など、相談者自ら家計改善に取り組めるよう支援しました。／実介入件数 新規23件 延べ249件 プラン作成件数 19件

【住居確保給付金】離職や休業等に伴う収入の減少により、住居を失うおそれが生じている方々への家賃相当額支給の相談窓口業務を行いました。

▷ 実相談件数 67件 延相談件数 104件 支給決定件数 20件

② 権利擁護の体制整備と相談支援

ア) 日常生活自立支援事業の実施(道社協受託事業)

北海道社会福祉協議会(以下「道社協」)から受託して行っている当事業を円滑に実施するため指揮監督者、自立生活支援専門員及び生活支援員を配置し、福祉サービスの利用や生活費管理などに不安を抱えている方々を対象に、その支援や重要な書類の預かりなどを行い、地域で安心して生活できるようにサポートしました。

【契約件数】34件(新規18件 前年度比11件増)

【生活支援員登録者数】34人(新規7人 前年度比7人減)

イ) 成年後見支援センター(中核機関)の運営及び法人後見事業の実施(市受託事業など)

令和4年度から、成年後見制度の利用促進を図るために、成年後見支援センターが中核機関としての機能をもち、これまで行ってきた相談支援や活動支援等をより効果的に進めるために、正職員1名を増員しました。併せて、地域の関係機関や専門職団体と連携を図り、後見制度を必要とする対象者の早期発見等、相談機能の強化のために地域連携ネットワーク協議会を組織しました。

受任調整会議においては、高齢福祉や障がい福祉分野に造詣の深い委員を2名(介護支援専門員、就労相談支援員)増員し、後見人等の推薦と活動の適正な実施について協議する体制を強化しました。

また、医療・福祉機関だけでは解決が難しい法的な課題に対応するため、法律職との連携を強化するために、専門職派遣による支援を行いました。

なお、当協議会では引き続き成年被後見人等の権利を擁護するために法人後見業務を実施しました。

【相談支援実績など】 新規相談件数 136件 延べ相談件数 704件

延べ相談支援回数 688回 申立支援件数 8件 後見開始審判の市長申立要請 7件
受任調整会議 4回

【法人後見】 年度末受任 23件(令和4年度受任 5件)

【市民後見人個人受任】 年度末受任 3件(市民後見人個人受任 令和4年度受任 0件)

【市民後見人フォローアップ研修】

- ▷ 第1回/令和4年6月30日(木)/「事例で学ぶ成年後見人等の役割について」 講師:弁護士 田村秀樹氏 参加者23人
- ▷ 第2回/令和4年12月13日(火)/「市民後見人に必要な税制の基礎知識」 講師:税理士 小野寺信哉氏、「成年後見制度改善検討と市民後見人の役割」 講師:東京大学特任専門職員 東 啓二氏 参加者 21人

【普及啓発】

- ▷ 社協だより「幸せな社会」やホームページでの情報発信
- ▷ 出前講座の実施/しらかば親和会、大麻北栄町自治会、長井学園実習生
- ▷ 地域向け講演会の開催/令和4年10月29日(日)江別市民会館 「笑って深める成年後見～暮らしに役立つ成年後見制度とは～？」 講師:林家 とんでん平氏(落語家・手話落語家) 参加者89人

【関係機関との会議等】 中核機関運営会議(10回)、江別市成年後見制度利用促進協議会(2回)、地域連携ネットワーク協議会(1回)

【登録管理】

- ▷ 市民後見人及び後見支援員の登録意向確認を実施
- ▷ 年度末登録者 市民後見人候補者 36人 後見支援員 36人

③ 生活安定のための貸付金を活用した相談支援

生活困窮・障がい者世帯に対し、用途目的に応じた資金の貸し付けを円滑に実施するため生活資金相談員を配置し、業務の推進に努めました。

令和2年3月から開始となった新型コロナウイルス特例貸付(緊急小口資金・総合支援資金)の相談・申請窓口となるとともに、相談者の状況により他制度の紹介を継続し行いました。また、令和4年度は償還(返済)開始が本格化する年度であり、償還免除や償還猶予の手続き並びに問い合わせへの対応が始まりました。

一方で、特例貸付を申請してきた方からの相談では福祉金庫を紹介したことで、福祉金庫の相談が増加しました。

【相談者件数】

区 分	4年度	3年度	増 減
生活福祉資金	延126件	延146件	△延20件
福祉金庫	延117件	延59件	延58件
電 話	延503件	延1,251件	△延748件
計	延746件	延1,456件	△延710件

ア) 生活福祉資金の貸付(道社協受託事業)

道社協の「生活福祉資金貸付事業」の取り扱い窓口として、各種資金を貸し付けました。

【貸付実績】

※各欄上段が貸付件数・下段が貸付金額

区 分	4年度	3年度	増 減
福 祉 費	2件 279,330円	0件 0円	2件 279,330円
教育支援資金	14件 11,648,000円	4件 5,582,000円	10件 6,066,000円
緊急小口資金	115件 22,750,000円	423件 80,350,000円	△308件 △57,600,000円
総合支援資金	105件 54,060,000円	776件 424,848,000円	△671件 △370,788,000円
計	236件 88,737,330円	1,203件 510,780,000円	△967件 △422,042,670円

イ) 特別生活資金の貸付(道社協受託事業)

道社協の「特別生活資金(冬期生活資金)貸付事業」の取り扱い窓口業務を実施しました。

【貸付実績】

区 分	4年度	3年度	増 減
貸付件数	0件	1件	1件
貸付金額	0円	50,000円	△50,000円

ウ) 福祉金庫の貸付

当協議会の独自事業として、一時的に生活費が必要となった世帯に4万円を限度として、応急的な資金を貸し付けました。

【貸付実績】

区 分	4年度	3年度	増 減
貸付件数	58件	49件	9件
貸付金額	2,142,000円	1,940,000円	202,000円

④ ボランティアによる日常生活上の悩みごとに関する相談支援

相談活動を主とするボランティアセンター登録3団体の協力を得て、火・金曜日の悩みごとテレホン相談及び木曜日の認知症の介護相談を実施しました。

【協力団体】 江別家庭生活カウンセラーグループ、江別市家庭問題研究会、江別認知症の人の家族を支える会

【相談件数】

71件(前年度比20件減)

⑤ 生活支援体制整備事業の実施(市受託事業)

生活支援や介護予防の充実を図るため、各種研修会及び住民主体で行うサロンへの参加を通じ、事業推進に必要な情報収集に努めるとともに、地域住民・団体が「支え合いのまちづくり」を進めていく上での助言や、第2層生活支援コーディネーター(地域包括支援センター)との協働、関係機関などとのネットワークづくりに努めました。

また、通いの場調査や第2層生活支援コーディネーターとの情報交換のなかで明らかになった地域課題のひとつ「高齢者の移動手手段の確保、運転免許返納後の生活への不安」への対応として、全国の事例を学ぶ市民向け学習会を開催しました。

その他、通いの場情報誌更新のための情報収集、訪問だよりの発行、社協広報誌にてサロンなど開催状況の掲載(シリーズ化)を通じ、市内における活動例の周知に注力しました。特に、コロナ禍での活動を模索している通いの場に向けて、訪問だよりや各地区で行われた通いの場交流会等を通して、他の通いの場での取り組みや三密を避けて楽しめる工夫等について情報提供を行いました。

【会議への参加】 第1層・2層生活支援コーディネーター会議など 26回

【研修会等への参加】 事業展開に関する情報交換研修への出席など 7回

【関係機関との情報交換・情報収集・情報提供活動】 江別市の各部署、その他関連団体との情報交換など 95回

【地域活動への参加】 地域サロン、サークル等の通いの場見学・参加など 109回

【第2層生活支援コーディネーターとの協働】 情報交換、地域課題への対応、第2層協議体への参加など 36回

【問合せ対応】個人・団体や事業所からの問合せ対応(通いの場参加希望者への情報提供、連絡調整、貸出物品利用申込みへの対応) など 36回

【学習会・出前講話等】主催した市民向け学習会、講話依頼を受けての訪問など 3回

【その他】 通いの場訪問だよりの発行、広報活動(情報誌、訪問だより配布含む)、会議録・書類作成など 30回

基本計画 2 ボランティア活動で進める福祉の環境づくり

市民がボランティア活動に積極的に参加できるよう支援し、地域福祉の担い手として活動しやすい環境づくりに努めました。

(1) ボランティアセンターの運営

① ボランティア活動の相談・登録、活動先紹介

ボランティア活動の相談受付、登録、ボランティア活動への協力依頼に対するボランティアへの情報提供及び活動希望者の調整・確保に努めました。

ア) ボランティアセンター登録団体・個人状況

区 分	登録状況		増 減
	4年度末	3年度末	
団 体	60団体 1,377人	57団体 1,368人	3団体 9人
個 人	167人	133人	34人
計	1,544人	1,501人	43人

イ) 社会福祉施設などへのボランティア協力

高齢者福祉施設での行事やレクリエーション支援、在宅高齢者への支援及び相談活動などに協力しました。

【ボランティア協力活動実績】

活 動 区 分	延活動人数		増 減
	4年度	3年度	
高齢者施設	49人	76人	△27人
障がい者施設・団体	18人	40人	△22人
在宅高齢者	527人	176人	351人
在宅障がい者	135人	89人	46人
託児	56人	15人	41人
子ども・地域食堂	238人	202人	36人
児童・学校	4人	0人	4人
相談	121人	118人	3人
病院	0人	0人	0人
その他	133人	101人	32人
合 計	1,281人	817人	464人

② ボランティア活動の基盤整備

安心して活動に取り組める基盤の整備に努めました。

ア) ボランティア活動保険の加入

ボランティア活動中の万が一の事故に備え、加入の促進に努めました。

【取り扱い件数】 3,191人

(登録ボランティア 1,348人／愛のふれあい活動 680人／自己加入者 1,163人)

イ) ボランティア団体助成金の交付

ボランティアセンター登録団体の活動を支援するため助成金の交付や各団体の民間助成金の交付申請手続きを支援しました。

【団体への活動助成金】 59団体 1, 204, 750円

【民間助成金団体】

- ▷ 北海道地域活動振興協会ボランティア活動支援事業助成金／7団体
「江別車いすボランティア整備」「江別更生保護女性会」「長生民謡会」「あおむし人形劇団」
「療養・介護・看取り研究会」「朗読ボランティアグループまちの灯」「札幌学院大学BBS会」
- ▷ 公益財団法人大和証券福祉財団 2022年度ボランティア活動助成金／1団体
「あじさい会」
- ▷ 一般財団法人日本おもちゃ図書館財団 2022年度おもちゃセット助成金／1団体
「江別市女性団体協議会」

③ ボランティア団体連絡会の運営

登録ボランティア団体で構成される「江別市ボランティア団体連絡会」を運営し、情報交換と交流の促進及び当協議会と協働してボランティア活動を展開しました。

各団体の活動内容はホームページに掲載し、市民にお知らせしました。また、ICTをボランティア活動に活かすことができるよう、「ICT活用検討委員会」を立ち上げ、ボランティア団体連絡会内でのラインワークス導入を試行的に開始しました。

【総会及び役員会】

開催日 令和4年6月16日(木)

場 所 総合社会福祉センター 研修室

(2) ボランティアの育成・確保

① ボランティア活動者研修の開催

ボランティア活動者であるボランティア登録団体を対象に、「ラインワークス導入説明会」を実施しました。

【ラインワークス導入説明会】

開催日 令和5年3月7日(火)

場 所 総合社会福祉センター 研修室

参加人数 35人

② 傾聴ボランティアの育成

当協議会と江別市ボランティア団体連絡会が協働して、悩みや寂しさを抱える高齢者の話し相手をボランティア活動で行い、「聴く」ことにより心の不安を軽減することを目的に実施しました。

ア) 養成研修

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

イ) ステップアップ研修(全道傾聴フォーラムへの参加)

・開催日 令和4年11月20日(日)

・場 所 道民活動センター(かでの2. 7)

・参加人数 10人 ※内1人はオンラインで参加

ウ) 石狩地区ボラネットスキルアップ研修会

・開催日 令和5年3月6日(月)

・場 所 総合社会福祉センター 研修室

・参加人数 15人

エ) 活動実績(再掲)

5個人に対し、延べ97人(前年度比8人増)が活動しました。

基本計画 3 市民参加で進める地域での生活支援や交流活動の促進

身近な地域でのつながりや絆を深め、安心して暮らせる地域づくりの活動支援の充実に努めました。

(1) 愛のふれあい交流事業の実施

様々な機会を利用して、自治会に「地域交流の集い活動事例集」や「社協紹介パンフレット」などを活用し、当事業への取り組みを働きかけました。

① 愛のふれあい活動の実施

ボランティアグループを編成し、ひとり暮らしの高齢者などへの安否確認などの助け合い活動に取り組む自治会を支援しました。

【実施状況】

地 区	実施自治会数（自治会）			対象世帯数（世帯）			ボランティア延人数（人）		
	4年度	3年度	増減	4年度	3年度	増減	4年度	3年度	増減
江 別	15	12	3	384	330	54	544	449	95
野 幌	26	28	△2	548	592	△44	997	1,523	△526
大 麻	24	25	△1	492	655	163	723	1,035	△312
計	65	65	0	1,424	1,577	△153	2,264	3,007	△743

② 地域交流の集い活動の実施

地域の高齢者・障がいのある方の閉じこもりを予防し、身近な住民による交流を促進するための活動に取り組む自治会を支援しました。

また、コロナ禍において、交流会等を開催する場合だけでなく、対象者宅を訪問する活動に切り替えた場合にも、助成金を申請可能とする取り扱い(特例)を継続しました。

【実施状況】

地 区	実施自治会数（自治会）			実施事業数（回）		
	4年度	3年度	増 減	4年度	3年度	増 減
江 別	19	15	4	50	30	20
野 幌	18	19	△1	54	47	7
大 麻	16	16	0	51	46	5
計	53	50	3	155	123	32

※全155事業のうち39事業を特例で助成

【特例取り組み事例】

- ・関係機関から取り寄せた健康増進に関する資料と日用品を持って戸別訪問し、玄関先で近況について話し合ったり、要望を聞き取ったりして交流しました。
- ・対象者宅を訪問して不織布マスクを配布するとともに、体調や生活状況の確認を行いました。

(2) 江別市共同募金委員会との協働

江別市共同募金委員会が実施する赤い羽根共同募金及び歳末たすけあい募金運動に協力するとともに、助成金の確保に努めました。

① 赤い羽根共同募金運動への協力

令和4年10月1日から展開された赤い羽根共同募金運動へ協力しました。

【募金実績】 6, 275, 720円(前年度比340, 926円減)

★当協議会への共同募金助成状況

区 分	事 業 名	助成額 (円)		
		4年度	3年度	増 減
市町村 地域助成	愛のふれあい交流事業	200, 000	200, 000	0
	ボランティア団体育成	200, 000	200, 000	0
	広報誌「幸せな社会」発行	755, 510	760, 351	△4, 841
道地域助成	ワークキャンプ	110, 000	110, 000	0
合 計		1, 265, 510	1, 270, 351	△4, 841

② 歳末たすけあい運動への協力

令和4年12月1日から展開された歳末たすけあい募金運動へ協力しました。

また、令和4年12月、寄せられた募金を活用し、民生委員・児童委員の調査により対象となった生活支援世帯へ見舞金を贈呈しました。

【募金実績】 4, 393, 979円(前年度比338, 133円減)

【歳末たすけあい募金助成】

★見舞金の贈呈状況

区 分	4年度		3年度		増 減	
	世帯数 (世帯)	見舞金額 (円)	世帯数 (世帯)	見舞金額 (円)	世帯数 (世帯)	見舞金額 (円)
生活支援 世帯	615	1, 515, 780	521	1, 869, 000	94	△353, 220

★福祉事業への助成状況

助成先	4年度		3年度		増 減	
	団体数 (団体)	助成金額 (円)	団体数 (団体)	助成金額 (円)	団体数 (団体)	助成金額 (円)
障がい児・ 者団体及 びその家 族会	1	55, 000	4	229, 000	△3	△174, 000
地域福祉 推進団体	2	60, 000	1	20, 000	1	40, 000
計	3	115, 000	5	249, 000	△2	△134, 000

★当協議会への歳末たすけあい募金助成状況

事 業 名	助成額 (円)		
	4年度	3年度	増 減
除雪派遣サービス	750, 000	866, 357	△116, 357
計	750, 000	866, 357	△116, 357

(3) 江別ふれあい福祉の広場の開催

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

(4) 企業・団体の地域貢献活動への支援

自治会、施設・団体、企業が行う社会貢献活動や地域行事などへの協力要請に対し、活動先の紹介、連絡調整及び活動備品の貸し出しなどの支援に努めました。

▷ 活動備品の貸出

- ・テント 2施設 5団体
- ・机 4施設 11団体
- ・椅子 3施設 5団体

▷ 社会貢献活動への協力

- ・株式会社ダイナム(緊急支援用食料寄贈)
- ・江別ロータリークラブ(介護用電動ベッド寄贈)
- ・角山開発株式会社(緊急支援用食料寄贈)
- ・北海道コカ・コーラボトリング株式会社(福祉施設への清涼飲料水寄贈)
- ・後藤建設株式会社カーブス事業部(緊急支援用食料寄贈)
- ・江別建設業協会(高齢者宅の除雪作業)
- ・江別ロータリークラブ、札幌地方自動車整備振興会江別支部(車いす点検・整備)
- ・江別グリーンライオンズクラブ(緊急支援用お米券寄贈)

基本計画 4 体験学習、研修による福祉意識の醸成

福祉施設などと協働し、青少年はじめ市民に体験の場や研修の機会を提供し、福祉意識の醸成に努めました。

(1) 地域福祉活動者研修会の開催

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

(2) 福祉施設での体験学習

① ワークキャンプ(福祉施設介護体験学習)の開催

高校生を対象に、福祉施設の協力を得て、実際に福祉の現場を見て、知って、感じるキャリアビジョンを広げる機会として開催しました。夏のワークキャンプについては、企画・募集を行いました。新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、急遽中止しています。冬のワークキャンプについては、感染対策を行い、福祉施設での体験学習を実施しました。(2施設開催予定の内、1施設は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止)

【開催内容】

開催期間	参加者数	場所
令和4年 8月 3日(水) 令和4年 8月 8日(月) 9日(火)	中止	新型コロナウイルス感染拡大のため、中止
令和5年 1月 11日(水) 12日(木)	中止 3人	盲人養護老人ホーム 恵明園 特別養護老人ホーム 静苑ホーム
計	3人	(前年度比参加者数△1人)

② ハーフデイボランティアスクールの開催

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

(3) 総合的な学習の時間や学校・大学の福祉活動への協力

総合的な学習の時間に伴う体験用具の貸し出しや車いすの貸し出しを通して協力しました。

▷ 体験用具の貸出

- ・疑似体験セット 小学校10校 2団体
- ・車椅子 小学校5校

(4) いきいきシニアスクールの開催

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

基本計画 5 自立した生活を支援する福祉サービスの提供

住み慣れた地域で安心して自立した生活を送れるように、各種の福祉サービスの提供に努めました。

(1) 雪処理への支援

① 福祉除雪サービスの実施(市受託事業)

高齢・重度の身体障がいなどで除雪が困難な世帯を対象に公道(車道)除雪後に残る「置き雪」の処理をロータリー車、ショベルカーを使用し実施しました。

【実施期間】 令和4年11月1日～令和5年3月31日

【利用料金】 1間口3m以内(追加料金は1間口15,000円)

種 別	市からの助成金	利用者自己負担額	合 計
市・道民税非課税世帯	26,030円	15,770円	基本料金 41,800円
同均等割課税世帯	20,170円	21,630円	
同均等割・所得割課税世帯	14,290円	27,510円	

【実施状況】

地 区	4年度(世帯)		3年度(世帯)		増 減 (A)-(B)
	利用世帯数 (A)	(A)の内、 新規	利用世帯数 (B)	(B)の内、 新規	
江 別	315	68	294	41	21
野 幌	414	75	382	69	32
大 麻	245	69	208	32	37
計	974	212	884	142	90

② 除雪派遣サービスの実施

高齢・重度身体障がいなどで除雪が困難な世帯を対象に作業協力員により玄関先から公道までの除雪を実施しました。

作業協力員確保のため、江別市シルバー人材センターのほか、札幌勤労者企業組合、障がい者就労移行支援事業所との契約に加えて、独自に作業協力員の確保を行い、利用希望のあった全対象世帯にサービスを提供しました。

【実施状況】

地 区	利用世帯数(世帯)		
	4年度	3年度	増 減
江 別	58	44	14
野 幌	51	34	17
大 麻	59	54	5
計	168	132	36

③ 「えべつ雪の処理情報誌」の作成

市民の様々な除排雪の要望に対応するため、除排雪作業・料金などの内容を事業者別に記載した情報誌を発行するとともに、公共施設などに配置したほか、自治会の協力を得て回覧するなど、きめの細かい情報提供を行いました。また、雪処理を行う事業者一覧を社協だより「幸せな社会」に掲載しました。

【掲載事業者数】 28事業者掲載(前年度比増減なし)

(2) 高齢者・障がい者給食サービスの実施(市受託事業)

疾病・障がいにより食事の支度が困難な高齢ひとり暮らし世帯・夫婦世帯などに夕食を届けました。また、配達時に安否確認を行い、利用者の緊急時の対応を行いました。

【配食実績】

地区	利用数	高齢者世帯 (ひとり世帯)			高齢者世帯 (夫婦等世帯)			障がい者世帯 (ひとり世帯)			高齢者+ 障がい者世帯			合 計		
		4年度	3年度	増減	4年度	3年度	増減	4年度	3年度	増減	4年度	3年度	増減	4年度	3年度	増減
江別	世帯数	46	57	△11	6	9	△3	1	1	0	0	0	0	53	67	△14
	食 数	46	57	△11	12	18	△6	1	1	0	0	0	0	59	76	△17
野幌	世帯数	39	45	△6	10	14	△4	2	1	1	2	3	△1	53	63	△10
	食 数	39	45	△6	20	28	△8	2	1	1	4	6	△2	65	80	△15
大麻	世帯数	44	39	5	5	3	2	2	5	△3	0	0	0	51	47	4
	食 数	44	39	5	10	6	4	2	5	△3	0	0	0	56	50	6
合計	世帯数	129	141	△12	21	26	△5	5	7	△2	2	3	△1	157	177	△20
	食 数	129	141	△12	42	52	△10	5	7	△2	4	6	△2	180	206	△26

【年間配食実績】 50, 390食(前年度比9, 082食減) ※R3 59, 472食

(3) 障がい児者移動支援事業の実施

江別市が福祉サービスの利用を決定した身体・知的障がい児者の社会生活上、必要な外出・余暇活動・社会参加などの介助のために、ガイドヘルパーを派遣しました。

【実施状況】 ガイドヘルパー数 13人 ガイドヘルプ利用者数 13人

【利用実績】

利 用 内 容	件 数 (件)		
	4年度	3年度	増 減
健康・体力づくりや余暇活動などのための外出	95	151	△56
医療機関への相談又は受診	101	121	△20
一般市民向けの各種行事への参加	12	5	7
福祉活動を目的とした団体行事などへの出席	129	70	59
その他の外出	174	210	△36
計	511	557	△46

(4) 福祉機器の貸与

① 福祉機器の貸与

疾病・障がいがある方の日常生活を支援するため、福祉機器を貸与しました。

【貸与状況】

福祉機器	保有台数 (台)	貸与件数(延貸与月数) (件)		
		4年度	3年度	増 減
車椅子	127	969	954	15
介護用手動ベッド	8	72	84	△12
介護用電動ベッド	51	496	490	6
歩行器	29	209	181	28
計	214	1,709	1,709	△18

② 福祉ベルの設置

江別市緊急通報システム設置待機者を対象に、身体急変時の緊急連絡用として福祉ベルを設置しています。

【設置状況】

区 分	江別地区 (件)	野幌地区 (件)	大麻地区 (件)	合 計 (件)
3年度までの設置数	5	5	3	13
4年度設置数	0	0	0	0
4年度返却数	0	1	0	1
計	5	4	3	12

(5) 北光保育園・野幌季節保育所の運営

農村地域の児童の健全育成と子育て支援の一環として開設している北光保育園及び野幌季節保育所を運営しました。なお、野幌季節保育所は児童数の減少により、令和4年度をもって閉所し、令和5年度より北光保育園に統合することとなりました。

【保育児童数】

区分 保育所名	4年度年齢別保育児童数 (人)					3年度 (人)	増 減 (人)
	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合 計		
北光保育園	6	3	8	4	21	24	△3
野幌季節保育所	1	2	0	0	3	8	△5
計	7	5	8	4	24	32	△8

基本計画 6 地域に信頼される社協運営のための組織づくり

地域福祉推進の中核的な役割を發揮できる組織づくり、市民から信頼される運営体制の確立に努めました。

(1) 組織体制の整備

当協議会の運営、事業への市民・福祉団体の参加の促進や行政との連携に努めました。

① 行政との連携

特に、下記内容について、市と連携・協議のうえ、実施しました。

- ▷ くらサポ相談支援員が、事業の進め方や相談内容等について支援調整会議を毎週開催し協議。
- ▷ 江別市成年後見支援センターの運営状況、受任調整会議の開催内容、市長申立案件について協議。
- ▷ 生活支援コーディネーター業務の進め方及び生活支援体制整備事業の実施や周知方法について協議。
- ▷ 第7次江別市総合計画策定にあたり、地域福祉から見る現状と課題についてのヒアリングに協力。
- ▷ 特例貸付申請者への自立支援金等の通知発送時における、フォローアップ体制の構築に協力。
- ▷ 野幌季節保育所閉所について協議し、令和4年度をもって閉所を決定。
- ▷ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、総合社会福祉センター利用者に対し、感染症対策ポスター掲示の協力。
- ▷ 令和5年新年交礼会共催。

② 部会・委員会組織の活性化

部会・委員会を開催し、当協議会の運営に市民・福祉団体の意見・考え方を積極的に反映しました。

【部会・委員会開催状況】

会 議 名	開催回数	開 催 年 月 日
合同(総務・地域福祉)部会	1回	令和4年 9月29日
広報編集委員会	4回	令和4年 6月 9日 令和4年 9月 9日 令和4年12月 9日 令和5年 3月 9日
福祉金庫管理委員会	1回	令和4年 6月15日
江別市成年後見支援センター受任調整会議	4回	令和4年 4月27日(書面審議) 令和4年10月12日 令和4年12月12日(書面審議) 令和5年 1月27日(書面審議)

③ 役職員などの研修・資質向上

ア) 研修会への参加

役員が、社会福祉の現状や今後の動向などについて理解を深めるため参加しました。

【参加研修会】

研 修 会	開 催 日	場 所	人数
令和4年度法人役員研修	令和5年 2月14日 ～28日	オンデマンド	1人

イ) 職員の資質向上

道社協主催研修会などに職員を派遣またはオンライン参加し、資質向上に努めました。

【主な派遣研修会】

研 修 会	開 催 日	場 所	人数
協働フォーラム2022	令和4年 4月27日	オンライン	1人
生活福祉資金特例貸付債権管理・償還免除に関する説明会	令和4年 5月16日	オンライン	3人
第5回特例貸付に関する道内社協職員オンライン情報交換会	令和4年 5月25日	オンライン	2人
第4回生活支援コーディネーターカフェ	令和4年 6月 8日	オンライン	1人
令和4年度災害ボランティアコーディネーター養成・資質向上研修会	令和4年 6月13日	オンライン	1人
令和4年度石狩管内社協職員連絡協議会総会	令和4年 6月14日	江別市	6人
フードバンク窓口連携事業説明会	令和4年 7月25日	オンライン	1人
第5回生活支援コーディネーターカフェ	令和4年 8月 5日	オンライン	1人
両親の見送り体験から語る「8050問題対応」	令和4年 8月20日	札幌市	2人
令和4年度家計改善支援事業従事者養成研修	令和4年 9月 1日 ～2日	オンライン	1人
第7回道央圏生活困窮者自立支援事業担当者情報交換会	令和4年 9月 2日	小樽市	2人
令和4年度全道社協職員研究協議会	令和4年 9月20日	オンライン	1人
母子家庭等就業・自立支援センター石狩地区関係職員合同会議	令和4年10月 7日	千歳市	1人
地域の支えあい入門研修	令和4年10月19日	江別市	1人
多重債務研修会	令和4年10月26日	札幌市	1人
2022年度北海道生活困窮者支援情報交換シンポジウム	令和4年11月 4日	札幌市	1人
第72回社会を明るくする運動講演会	令和4年11月 9日	江別市	1人
第9回生活困窮者自立支援全国研究交流大会全体会1	令和4年11月12日	オンライン	1人
令和4年度石狩管内社協職員連絡協議会第1回研修会	令和4年11月18日	江別市	9人
第9回生活困窮者自立支援全国研究交流大会分科会1、2	令和4年11月19日	オンライン	1人

第9回生活困窮者自立支援全国研究交流大会 分科会3、4	令和4年11月20日	オンライン	1人
第9回生活困窮者自立支援全国研究交流大会 分科会5、6	令和4年11月23日	オンライン	1人
第9回生活困窮者自立支援全国研究交流大会 分科会7、8	令和4年11月26日	オンライン	1人
第9回生活困窮者自立支援全国研究交流大会 分科会9、全体会2	令和4年11月27日	オンライン	1人
不登校・ひきこもりを考えるシンポジウム	令和4年12月 4日	江別市	2人
石狩地区災害ボランティアセンター組織連携会議	令和4年12月 8日	千歳市	1人
令和4年度全道福祉の学習推進セミナー SDGsと福祉のつながり	令和5年 1月18日	オンライン	1人
令和4年度ケアラー支援関係機関職員等研修 応用研修	令和5年 1月19日	札幌市	1人
令和4年度日常生活自立支援事業指導監督 者・専門員研修	令和5年 1月27日	オンライン	4人
ひきこもり支援機関関係職員研修会	令和5年 2月	オンデマ ンド	1人
令和4年度生活支援コーディネーター養成講座 (フォローアップ編)	令和5年 2月13日	オンライン	1人
令和4年度北海道孤独・孤立対策官民連携に向 けたシンポジウム	令和5年 2月14日	オンライン	1人
困窮者支援に関わるセミナー	令和5年 2月18日	オンライン	1人
2022年度後方支援プロジェクト報告会 ～北海道における生活困窮者支援ネットワークに むけて～	令和5年 2月24日	札幌市	2人
R4年度地域共生社会推進研究協議会	令和5年 3月 3日	オンライン	1人
令和4年度石狩管内社協職員連絡協議会第2 回研修会／石狩地区地域に理解され支持される 社協づくり研修	令和5年 3月 8日	札幌市	6人
自立支援型ケア会議研修会	令和5年 3月23日	江別市	1人
シンポジウム「しごと・就労支援を切り口にした地 域づくりへ」	令和5年 3月23日	オンライン	1人

(2) 財源基盤の整備

当協議会の運営や福祉活動を推進するため財源基盤の整備に努めました。

① 会員会費制度の定着・促進

住民・福祉団体などとの協働を進めるうえで基本的な財源となる会員会費制度の定着・促進に努めました。

【会員会費状況】

区 分	件 数			備 考
	4年度	3年度	増 減	
第1種会員会費 (世帯会費)	38,065 世帯	36,706 世帯	1,359 世帯	1世帯 年額300円
第2種会員会費 (施設会費)	35施設	40施設	△5施設	50人未満 5,000円 50人以上 7,000円 100人以上200人未満 10,000円
第3種会員会費 (団体会費)	94団体	93団体	1団体	1団体 3,000円 ※ボランティアセンター登録 団体は人数による
第4種会員会費 (特別会費)	686 個人・事業所	692 個人・事業所	△6 個人・事業所	1口 1,000円以上

② 社会福祉基金の積立・運用

寄付金を安全確実な方法で運用しました。

【元金積立及び運用内訳】

積立・寄付状況	金 額	運用内訳(4年度末)
3年度までの元金積立額 ①	135,196,893円	政府保証債(年利率1.662%)
3年度事業充当戻入額 ②	3,218,000円	100,000,000円
3年度利息口座振替 ③	△24円	金融機関預金
4年度寄付金受入額 ④	753,392円 ▷ 内訳 (・篤志寄付 671,820円) (・つもり寄付 81,572円) ▷ 寄付件数 47件	35,249,461円 【内訳(ペイオフ対策による管理)】 定期預金(年利率0.002%) 10,000,000円 定期預金(年利率0.002%) 10,000,000円
定期預金利息元金振替 ⑤	200円	10,000,000円
4年度事業充当額 ⑥	△3,919,000円	定期預金(年利率0.002%) 10,000,200円
4年度末元金積立額 (①+②-③+④+⑤-⑥)	135,249,461円	普通預金(年利率0.001%) 5,249,261円

③ 共同募金からの助成金の確保(P.9参照)

④ 一般寄付金の活用

直接、当該年度事業に充当できる制度として寄付金を活用し、指定寄付の一般財団法人北海道信用金庫ひまわり財団からの10万円の寄付金は、ボランティア活動の推進に、公益社団法人札幌東法人会からの10万円の寄付金は、新型コロナウイルス感染防止対策に活用しました。

【寄付取扱実績】 件数 23件 寄付金額 1,048,685円

⑤ 各種事業コストの検討

令和5年度における北光保育園の保育料について、安定的な運営を行えるよう、保育料の改定に向けての検討を行いました。野幌季節保育所については、園児数の減少が続くことから、令和4年度末の閉所を決定しました。

また給食サービスにおいて、昨今の食材費・燃料費・人件費の上昇に鑑み、令和5年度においても継続的なサービス提供が行えるよう、委託料改定に向けて市と検討を行いました。

(3) 事務事業の改善

【主な改善事項】

- ・新型コロナウイルスの感染状況に応じて、評議員会の招集または書面による決議を実施。
- ・総合社会福祉センター入口に体温測定器、事務所デスク間にアクリル板を設置し、新型コロナウイルス感染対策を継続実施。
- ・評議員選任・解任委員会の委員構成人数を変更。
- ・事務局体制の整備(権利擁護係新設)。
- ・評議員及び役員の構成人数を変更(次期任期から適用)。
- ・総合社会福祉センター西側駐車場(来館者用)を整備。
- ・書庫を整備。

(4) 総合社会福祉センターの管理運営

福祉団体等が利用する地域福祉活動の拠点施設、並びに高齢者が集う交流の場として運営しました。新型コロナウイルス感染症の拡大防止対応として、センター利用者へ国が示す「新しい生活様式」を踏まえた注意喚起と、感染予防を実施しながらセンター運営を実施しました。

また、利用しやすい環境整備の一環として、西側駐車場の整備を実施しました。

【月別利用状況】

月	利用者数(人)			月	利用者数(人)		
	4年度	3年度	増減		4年度	3年度	増減
4	2,991	3,109	△118	10	3,104	3,106	△2
5	2,574	1,122	1,452	11	2,861	3,041	△180
6	2,993	711	2,282	12	2,505	2,843	△338
7	2,501	2,671	△170	1	1,932	1,845	87
8	2,284	2,392	△108	2	2,506	3,251	△745
9	2,906	225	2,681	3	3,059	2,538	521
計					32,216	26,854	5,362
累計(昭和57年度～令和4年度)					2,341,251人		

(5) 防災・災害対策の推進

- ▷ 令和4年5月27日(金)、第1回災害対策会議を開催。災害ボランティアセンター運営マニュアルを改正し、江別ライオンズクラブ及び江別グリーンライオンズクラブと締結した「自然災害発生時における災害ボランティアセンター支援に関する協定」内容を追記しました。同年11月14日(月)開催の第2回災害対策会議においては、災害発生時における社協内の役割分担を、日常業務において結びつきが深い部署の組み合わせに変更いたしました。
- ▷ 令和4年8月6日(土)開催の「江別市総合防災訓練」に職員が参加し、災害ボランティアセンターの活動事例の啓発や災害関連用品の展示を行いました。
- ▷ 令和4年12月8日(木)開催の道社協主催「石狩地区災害ボランティア組織連携会議」に職員が参加し、災害ボランティアセンターの活動事例の報告や災害時における支援団体の活動内

容について研修しました。

- ▷ 令和4年10月3日(月)と令和5年3月30日(木)に、総合社会福祉センター職員による火災を想定した避難訓練を実施しました。

(6) 地域福祉実践計画の進行管理

合同(総務・地域福祉)部会において、計画の執行状況について管理し、円滑な推進を目指すため、6基本計画・43個別実践事業について、令和3年度事業の最終評価を実施しました。

生活困窮者自立支援事業、法人後見事業、生活福祉資金貸付事業などについては、寄せられた多くの相談に対して円滑な対応・連絡調整に努め、支障なく安定したサービスを提供したことに高い評価を受けました。

一方、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、人と接したり、ふれあう事業は打撃を受け、事業実績が伸び悩みました。また、参集型の研修会やイベントは多くが中止となりました。結果、基本計画では、6計画全てで「評価3」、個別実践事業では、43事業全てが基準点の「評価3」以上で、その内、8事業が「評価4」となりました。

(計画全体では49事業だが、感染拡大防止のため中止とした事業もあるため評価対象は43事業)

【令和3年度基本計画評価結果】

分類	基本計画の主な内容と評価結果				
基本計画1	地域福祉に関する情報提供や包括的な相談体制による支援 5 4 3 2 1 [生活困窮者自立支援事業など12事業]				
基本計画2	ボランティア活動で進める福祉の環境づくり 5 4 3 2 1 [ボランティア活動の基盤整備など4事業]				
基本計画3	市民参加で進める地域での生活支援や交流活動の促進 5 4 3 2 1 [愛のふれあい活動など4事業]				
基本計画4	体験学習、研修による福祉意識の醸成 5 4 3 2 1 [ワークキャンプの開催など2事業]				
基本計画5	自立した生活を支援する福祉サービスの提供 5 4 3 2 1 [給食サービス事業など7事業]				
基本計画6	地域に信頼される社協運営のための組織づくり 5 4 3 2 1 [社会福祉基金の積立・運用など14事業]				

★会務の運営、基本計画以外の主な活動

(1) 会務の運営

① 三役会(会長・副会長・常務理事会議) 12回

開 催 日		
令和4年 4月11日(月)	令和4年 5月27日(金)	令和4年 6月20日(月)
令和4年 7月13日(水)	令和4年 8月 5日(金)	令和4年 9月12日(月)
令和4年10月17日(月)	令和4年11月14日(月)	令和4年12月 9日(金)
令和5年 1月16日(月)	令和5年 2月15日(水)	令和5年 3月 6日(月)

② 理事会 4回

開 催 日		
令和4年 6月10日(金)	令和4年10月 6日(木)	令和4年12月15日(木)
令和5年 3月13日(月)		

③ 評議員会 3回

開催日または書面による同意(決議)		
令和4年 6月27日(月)	令和4年10月27日(木)	令和5年 3月23日(木)

④ 監事監査 4回

開 催 日	
令和4年 5月24日(火)	令和4年 8月26日(金)
令和4年12月 6日(火)	令和5年 3月 3日(金)

⑤ 評議員選任・解任委員会 2回

開 催 日	
令和4年 7月15日(木)	令和4年10月11日(火)

(2) 社会福祉功労者顕彰

社会福祉功労者を顕彰し、感謝の意を表しました。

【被顕彰者】

- ▷ 団体推薦 表彰 27人 感謝 10人
- ▷ 寄付・寄贈 感謝 4団体

(3) ボランティア研修事業などへの参加

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

(4) 障がい児者施設の作品展示・販売

障がい児者への理解を図ることを目的に、障がい児者4施設の作品を総合社会福祉センターロビーに設置している「福祉の店」で展示・販売しました。

【販売商品】 ぼかし、固形石鹸、ポーチなど

(5) 福祉団体・ボランティア団体写真展の開催

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

(6) 社協だより「幸せな社会」への広告掲載

広告料による自主財源の確保に努めました。

【広告掲載実績】 掲載事業者数 6社 広告料 95,000円